

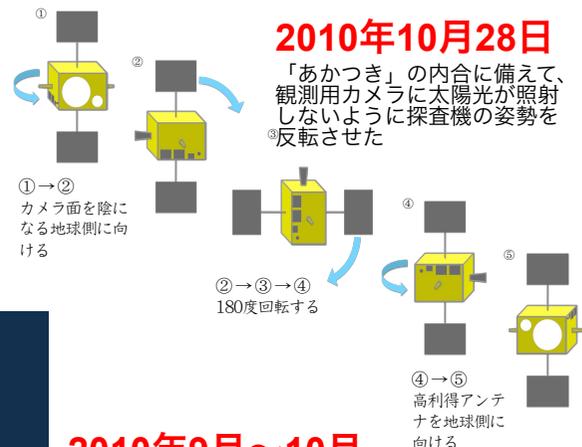
金星探査機「あかつき」

① 2010/5/21 ~ 2010/12/7

2010年11月8日
2010年11月22日,
2010年12月1日

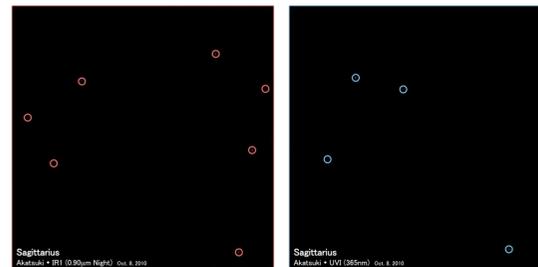
姿勢制御スラスタ(RCS)噴射による軌道微調整
噴射時間はそれぞれ 21秒、2.1秒、0.4秒

2010年12月7日
金星周回軌道への投入を試みた



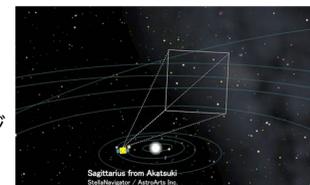
2010年9月~10月

金星観測用のカメラの動作確認・性能評価試験など
10月8日にはIR1とUVIで「いて座」を撮像



いて座画像 (左: IR1、右: UVI)

撮影時のイメージ

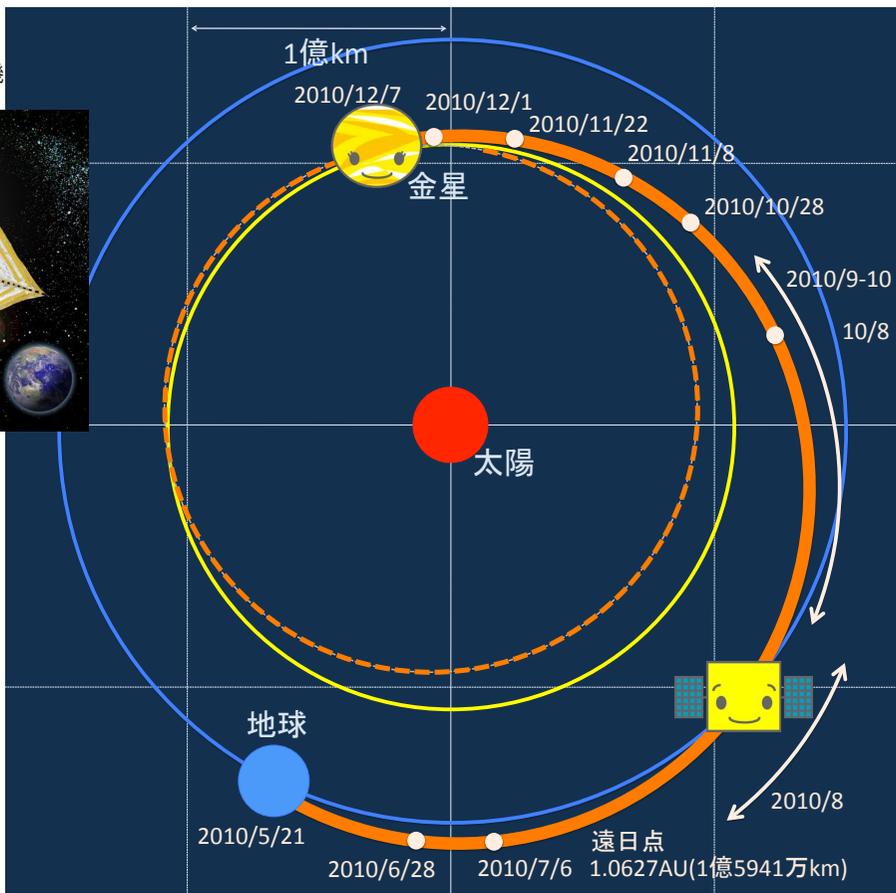
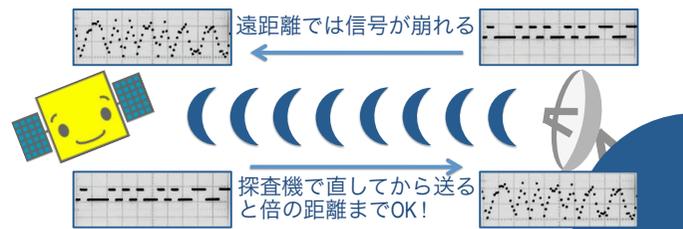


2010年8月

「再生型測距方式」の通信機器の性能評価を実施

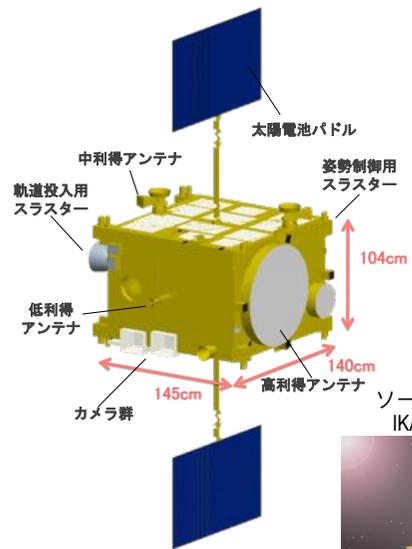
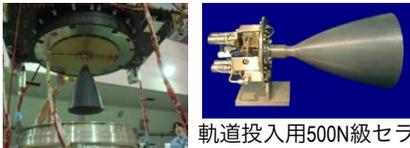


X帯深宇宙デジタルトランスポンダ
超遠距離通信を可能にする再生測距型送受信装置

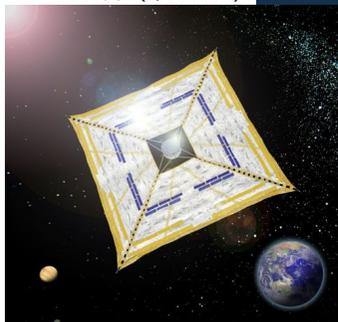


2010年6月28日

軌道制御エンジン(OME)噴射試験を実施し、新規開発の窒化ケイ素製セラミックスラスタの世界初の軌道上実証に成功
金星までの軌道への影響を考慮し、短時間(13秒間)の噴射



ソーラーセイル実証機 IKAROS (イカロス)



2010年5月21日

午前6時58分22秒(日本時間)
ソーラーセイル実証機IKAROSを含む5つの小型衛星とともに
H-2Aロケット17号機にて種子島宇宙センターより打上げ

イベント	経過時間(計画値)	経過時間(実績値)
1) ソフトオフ	0 分 0 秒	0 分 0 秒
2) 固体ロケットブースタ分離	2 分 5 秒	2 分 4 秒
3) 衛星フェアリング分離	4 分 19 秒	4 分 22 秒
4) 第1段エンジン燃焼停止	6 分 29 秒	6 分 32 秒
5) 第1段、第2段分離	6 分 37 秒	6 分 40 秒
6) 第2段エンジン第1回始動	6 分 43 秒	6 分 50 秒
7) 第2段エンジン第1回燃焼停止	11 分 29 秒	11 分 32 秒
8) 2nd OME分離(燃焼停止)	12 分 6 秒	12 分 9 秒
9) 第2段エンジン第2回始動	22 分 32 秒	22 分 37 秒
10) 第2段エンジン第2回燃焼停止	26 分 23 秒	26 分 25 秒
11) あかつき本機分離	27 分 27 秒	27 分 29 秒
12) IKAROS分離(分離信号送出)	42 分 42 秒	42 分 45 秒
13) LUNATIC-1分離(分離信号送出)	47 分 52 秒	47 分 52 秒



ロケットからあかつきが分離されたこと

午後8時50分頃、観測機器の状態確認を実施
約25万kmから撮像した地球

